



発行日/令和元年7月10日 発行者/網代和夫 編集/あきる野市町内会・自治会連合会 広報部会

### 更なる充実を 連合会会長 網代和夫

「向こう三軒両隣」と言う言葉があります。向い側の三軒と左右両隣の家のことで、日常親しく交際する近隣の称のこととありますが、最近ではすっかり使わなくなってしまうかもしれませんが懐かしさを感じます。この「向こう三軒両隣」が組を形成し、町内会や自治会としてまとまり、お互いに助け合い、励まし合い地域社会を形成して来たと言っても過言ではないと思います。

現在、あきる野市には、町内会・自治会が八十五あります。これがまとまり「連合会」(未加盟三)をつくり、今年の三月で結成二十周年となりました。設立に際しては大同団結をして、より暮らし易い社会を実現しようとするこの趣旨であろうと想像に難くないのですが、正直なところ高齢化に起因した会員の退会や新規加入が伸びずに加入率が減少する危機に直面して、趣旨の実現が危うい状況にもあります。

しかし、近年は、多くの子どもたちが犠牲になる悲惨な犯罪や事故事件が後を絶ちません。また、大きな自然災害も多発している現在(いま)だからこそ、隣近所における情報の共有化・連携・助け合いを通じて、しっかりと社会生活の防衛を果たしていくことが重要だと思いますので、連合会ロゴの描く精神の如く、縦横に手を取り合い連合会が目指す、『安心で安全な暮らし易い地域社会』の実現に共に寄与してまいります。

### 連合会二十周年を祝して



あきる野市長  
澤井敏和

あきる野市町内会・自治会連合会が発足二十周年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

平成十一年四月に発足以来、歴代の連合会長を始めとした会員の皆様におかれましては、自分たちの住んでいる地域を自分たちの手でより住みよい環境にしていくと防災訓練、花いっぱい運動、一斉清掃など多くの事業に、市と協働で取り組んでいただいております。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

また、日ごろより自主防災組織としての防災力の向上を目指し、各地区のあきる野市防災・安心地域委員会と連携し、防災リーダーの育成など、防災意識の啓発活動にも積極的に取り組んでいただいております。

このような取組は、「安心・安全のまちづくり」の実現に大いに寄与するものであり、非常に心強く感じております。市といたしましては、より強い絆で結ばれた地域社会を形成していくために、市のコミュニティの中心的な役割を果たしている皆様の活動を今後とも積極的に支援してまいります。

結びとなりますが、あきる野市町内会・自治会連合会の益々のご発展と会員皆様のご健勝を心からご祈念いたします。お祝いの言葉といたします。

### 余瀝

街のここかしこで紫陽花、梔子(くちなし)、立葵が妍(けん)を競い合っています。そば降る雨に濡れる紫陽花はひときり風情があります。梅雨時の鬱屈とした心情を和ませてくれます。季節々々の花々は目と心を楽しませ思い出を鮮やかによみがえらせてくれます。▼人間関係で心を和ませてくれるものは気持ちの良い挨拶です。笑顔と手振り身振りで、時には天候を交えながらなされる挨拶は快いものです。人間関係を維持発展させる上で必須の行為です。▼挨拶の起源は生存が大変困難な時代に朝起きて家族が無事かどうかを確認する、あるいは狩等に出かけたものが無事に帰ってきたかを確認する行為であったであろうと推測されています。また挨拶は立場の違いにより様々な形態があり、ともかくも相手に敬意を持つていないことを示し今後の関係を良好にするための基本的な行動といわれます。また、国や地域によって挨拶の原義に違いがあるのも文化や生活習慣の多様性を表し興味をそそられます。▼ともかくも挨拶は毎日の生活の基本であり、人生や人間関係を潤いあるものにする言葉です。多くの学校や地域で挨拶運動が行われているのも宜(むべ)なるかな、です。▼町内会・自治会連合会も何らかの形で挨拶運動を発信できればと思います。ここあきる野の地域や職場や学校で、相手の人格を尊重し穏やかな気持ちで心からのおすがすがしい挨拶が交わされることを想像することは、この季節に感じる憂鬱な気分を晴れやかなものにしてくれます。



第二代会長  
木下 守

あきる野市の合併が平成七年、私ども町内会・自治会の統合が十一月四月でした。いろいろな下準備がありました。当面の課題を詰めるのに秋川・五日市地域から三名ずつ委員を出し、その人たちが具体化の道を探りました。その人たちのほとんどがあちらに行ってしまう寂しい限りです。

課題では、連合会の名称に始まり、任期、規約の内容、会の適正規模等々が浮かびます。そんな中で初年度の連合会役員の内任を一年として、各地区の会長交代時期を合わせることにしたのでした。

私は連合会長として七地域からの二十一名の役員と共に協議を重ね連合会の運営に当たりました。「会長メモ、報告にかえて」を作り会議で使わせてもらいました。すると各役員から地域の会長会で使わせて欲しいとの声で八十五名に二年間配布、それは大変でしたけど、今考えると貴重な経験をさせていただきました。

二十年たったいま、連合会の活動をうかがいながら、ここまで力を尽くし積み上げてくださった多くの皆様方に心から拍手を送り、町内会・自治会連合会の増々の充実発展をお祈りいたしております。



武蔵五日市駅



秋川歌舞伎



ヨルイチ

米国同時多発テロ事件発生

アテネ五輪開催

1995年度  
平成7年度

あきる野市誕生  
あきる野東急オープン

1996年度  
平成8年度

スポーツレクリエーション大会開始  
五日市新駅舎完成

1999年度  
平成11年度

あきる野市町内会・自治会連合会発足  
菅生トンネル開通

2000年度  
平成12年度

秋川歌舞伎が東京都の無形文化財に指定

2001年度  
平成13年度

あきる野市新庁舎完成

2002年度  
平成14年度

町・自連会報創刊号発行  
新小峰トンネル開通

2003年度  
平成15年度

ヨルイチ 第一回開催

2004年度  
平成16年度

防災無線開局



第三代会長  
青木 旦治

あきる野市町内会自治会連合会発足二十周年おめでとうございます。

平成十四年度から十七年度までの四年間、第三代目の同連合会長を務めさせて頂きました。

この時期、連合会は半熟期に近い状態ではなかったかと感じております。一つには、前期理事会の構成員理事の殆どの方が退任されていたこと、もう一つは、小生が当会の理事の履歴がなかったことで手探り状態の運営を余儀なくされたためであります。

また、一方では、社会情勢の外的雰囲気やスポレク大会の盛況を呼び込む状況があつて、八十六町内会・自治会のうちこの期間はほぼ七十二団体近くの参加があり、動員参加者数は毎回、平均二万五千人以上であったという報告を聞いております。まさに連合会役員構成は、新生のスタートでありましたが、理事の方々をはじめ、関係者の前向きな努力と協力で四年間を乗り切ることができました。感謝申し上げます。

なお、「町・自連会報」の第一号については、編集委員の方々の努力で発行できました。



第五代会長  
倉田 克治

町内会・自治会連合会発足二十周年おめでとうございます。私は平成二十年、二十一年度に連合会長を務めさせて頂きました。

この度は、記念式典に招待を頂きありがとうございます。歴代の会長さんにも会えて感慨深いものがあり、また、歴史も感じました。

振り返ってみますと、就任早々、市から「安心・安全まちづくり」（防災・安心地域委員会）、「高齢者の見守り活動」、「学童の見守り活動」の要請を受け、優秀なスタッフのもとで取組み、今でも継続されており連合会の総力に驚いております。

高齢化社会を迎えた今日、さらなる課題解決のため、地域共生社会創設「誰もが、住み慣れた地域で、いつまでもいきいきと心豊かに暮らせる社会」で、元気な高齢者を育てる取組みについて連合会を母体に地域ぐるみで支えていけるよう皆で取り組めればと思っております。連合会の益々の活躍をお祈り致します。

JR福知山線で脱線事故発生



瀬音の湯

後期高齢者医療費制度開始

リーマンショック発生



ハザードマップ

東日本大震災発生

地上アナログ放送終了



救急医療情報キット

2005年度  
平成17年度

圏央道あきる野インターチェンジオープン  
東部図書館エル会館オープン

2007年度  
平成19年度

秋川溪谷瀬音の湯オープン  
中央図書館オープン

2008年度  
平成20年度

防災・安心地域委員会設立  
阿伎留医療センターオープン

2009年度  
平成21年度

防災・安心地域委員会本部発足  
防災マップ作成  
地域懇談会の実施

2011年度  
平成23年度

産業祭に連合会として参加

2012年度  
平成24年度

小宮小138年の歴史に幕  
救急医療情報キット部会発足



第六代会長  
南 征夫

私の出身自治会は、五日市地区のほぼ中心に位置する小庄自治会です。世帯数が、八十世帯余りの小さな自治会です。私が自治会長に選出されたのは平成十八年度でした。三期目に五日市地区の代表に選出され、連合会の仕事も多くなり、その後二十年には防災委員会が立ち上がり、五日市地区の代表としての仕事も増えました。その後、二十二年度からの連合会長として行った事業を箇条書きにしてみました。

二十二年度は、加入促進部会で救急医療情報キットの導入。また、体力の増強を目指し、インターバル速足講習を市内四箇所の会場で実施しました。

二十三年度は、東日本大震災の義援金を連合会で集め、一千九百万円を被災地に送りました。また、東京都の補助金で全市六地区の防災組織に無線機を配備しました。

二十四年度は、連合会長を専任会長としました。

二十五年度は、加入促進に向けて『町内会自治会音頭』を作り、毎年夏まつりには千人を超す市民の皆さんに参加していただいております。

この間、役員の皆さんには献身的なご協力を頂き、又会員の皆さんにはご理解を頂きありがとうございました。思い起こしてみると長いような短いような八年間でした。



第七代会長  
中村 勇

「無用の用」と言う賢人訓があります。何の役にも立たないと思っていたものが実は大切な役割をはたしていることもあります。

日本人は色を見るための色を使いません。住まいの捨色となり、捨色の典型は和室です。残った数パーセント調度品等で人との親和力が生まれます。

地域社会の構造変動＝「骨粗鬆症」化現象が進み多くの問題が生まれています。

緑の空間、澄んだ空気、自然豊かな清流とそれに歩道・緑道等、環境保全のゆきとどいたこの地で生活できることの幸せを享受しています。

連合会設立の目的を原社会に照らし合わせて、「安全・安心で住みよい街づくり」を目指して、会員各位のご理解ご協力により課題の問題解決に取り組みました。

色は無言で仕事をすると言う言葉があります。組織を暖色系に導くことにより、時間を拡大評価する事ができると立証されています。

目的達成のため各種団体、市民また行政と協働・連携して一歩一歩前進していくことが大切と感じました。

記念式典にお招きをいただきまして、ありがとうございます。

連合会の発展と会員各位のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

熊本地震発生



20周年祝賀会



夜間防災訓練



夏祭り（流し踊り）



2019年度 平成31年度・令和元年度	2018年度 平成30年度	2017年度 平成29年度	2016年度 平成28年度	2015年度 平成27年度	2013年度 平成25年度
五月一日 元号が令和となる あきる野市町内会・自治会連合会 二十周年祝賀会開催	連合会のロゴマークを制定 親子そろって地域探訪事業の実施	第二回夜間防災訓練の実施 親子スポーツなわとび交流会事業の実施	夜間防災訓練の実施 親子スポーツなわとび交流会事業の実施	スポーツレクリエーション大会終了 町内会・自治会音頭発表	安否確認旗配布 雨間立体開通 戸倉小139年の歴史に幕

歴代会長

あきる野市町内会・自治会連合会は平成11年4月1日に発足いたしました。あきる野市の誕生から4年6ヶ月を経過してようやく合併が成し遂げられました。

それぞれの時代において課題解決に取り組みまれてきた歴代会長に厚く御礼申し上げます。

- 坂本栄司（平成11年度）
- 木下 守（平成12年度～平成13年度）
- 青木旦治（平成14年度～平成17年度）
- 平野通雄（平成18年度～平成19年度）
- 倉田克治（平成20年度～平成21年度）
- 南 征夫（平成22年度～平成25年度）
- 中村 勇（平成26年度～平成29年度）
- 網代和夫（平成30年度～現職）

編集後記

二十周年特集号となるとそれなりに歴史があるわけで、編纂にあたって記録の大切さを痛感。また、按部就班で進めることが大切であります。子供たちの声には活力があり、清々しい。「お帰り」と声をかける。「た дайまい」と返事が、実に気持ちが良い。その地域に淀みが無くなります。これからも、町内会・自治会のイベントや取り組みの紹介も含め、風通しの良い会報にしていきます。

広報部 橋本

※按部就班（あんぶしゅうはん）  
文章の構成に応じて語句を選択して使用する。順序を追って実行する。